

「阿南市役所働き方改革」の取組について

趣旨・目的

働き方改革の取組による労働時間の削減・効率化によって捻出されたリソース(人・時間)を有効に活用し、市民サービスの向上につながる取組を進めます。

また、ワーク・ライフ・バランスの推進や育児・介護に配慮した職場環境の整備、長時間労働の是正、仕事と家庭の両立支援など、働きやすい職場づくりを進めることも必要とされています。

こうした課題に対応し、市役所業務を一層効率化することを目的として、阿南市役所では課長補佐級以下の若手職員で構成される「働き方改革検討チーム」を令和元年11月に設立し、活動を進めています。

チームでは、「労働時間の短縮」、「市民サービスの向上」、「人材育成・確保」、「柔軟な働き方の実現」など6つのテーマをもとに市役所職員に対して改革につながる提案の募集を行い、優先的に取組むべき提案を市長をはじめとした特別職に提案し、関係部署とともに実施にむけて取り組んでいます。

取組概要

【労働時間の短縮】

AI(人工知能)を活用するなどして、職員の労働時間の削減を目指します。

- ① 退庁促進メッセージの導入
- ② 水曜日ノー残業デーの実施
- ③ AI 議事録作成支援システムの導入
- ④ LoGoチャットの導入

【柔軟な働き方の実現】

ワーク・ライフ・バランスを推進するため、労働時間や勤務場所について柔軟な対応の検討を進めます。

- ① 時差出勤制度の試行

【人材確保・育成】

職員一人一人が働き方改革について「他人ごと」ではなく「自分ごと」として捉え、市民目線で働き方改革に取り組むことにつながる取組を推進します。

- ① 地域情報化アドバイザー制度の活用

【市民サービスの向上】

働き方改革の取組による労働時間の削減・効率化によって捻出されたリソース(人・時間)を有効に活用し、市民サービスの向上につながる取組を推進します。

- ① (仮称)おくやみコーナーの開設

取組内容

【労働時間の短縮】

① 退庁促進メッセージの導入

時間外勤務の削減や職員のワークライフバランスの推進を目的として、残業している職員に対し、所定の時刻に庁内放送やパソコン上において退庁を促すメッセージを伝えることにより、効率的に業務に取り組む意識の改革を進めます。

② 水曜日ノー残業デーの実施

時間外勤務の削減や職員のワークライフバランスの推進を目的として、毎週水曜日に1日2回、本庁舎においてノー残業デーを周知します。

③ AI議事録作成システムの導入

会議や打ち合わせの音声データを、AI音声認識技術を活用した議事録作成支援システムを利用し、自動で文字起こしすることにより職員の業務時間の削減を進めます。

④ 「LoGoチャット」の導入

セキュリティの高いコンピューターネットワークであるLGWAN環境で利用できる自治体専用のビジネスチャットサービス「LoGoチャット」について、会議資料の共有や業務の報告、及び災害時の情報共有を迅速かつ効率的に進めることを目的として導入を進めます。

⑤ Web会議システムの活用

遠方での会議や説明会などに参加できるよう、徳島県のセキュリティクラウドを使用するWeb会議用パソコンを市役所本庁舎に整備し、会議などへの参加に係る交通費や移動時間の削減を推進しました。今後、公民館などの出先機関でもWeb会議が使用できるように整備し、職場環境の向上につなげます。

取組内容

【 市民サービスの向上 】

① (仮称)おくやみコーナーの開設

死亡された方の御遺族が死亡に関する手続きを行う際、市役所内の複数の窓口へ出向き、書類に氏名等を何度も記入する必要があり、時間と手間がかかっています。このことから、御遺族の負担軽減と手続きに係る所要時間の短縮を目的として、死亡に関する市役所関連の手続きについて、総合的に案内・処理する専用窓口を市民生活課内に開設しようとするものです。

【 柔軟な働き方の実現 】

① 時差出勤制度の試行

令和3年1月～12月の1年間にかけて、市役所業務に支障がない範囲で、7時30分～16時15分、9時30分～18時15分の2パターンで時差出勤を試行し、制度の効果及び課題検証を行います。

【 人材確保・育成 】

① 地域情報化アドバイザー制度の活用

総務省では、情報通信技術(ICT)やデータ活用を通じた地域課題解決に精通した専門家に「地域情報化アドバイザー」を委嘱し、地方公共団体等へ派遣することで、ICT利活用に関する助言等を行う事業を実施しています。この制度を活用し、阿南市が抱える課題に対する専門分野の人材派遣の検討を進めます。